

都市計画マスタープラン「地域別構想」(たたき台)について

1 三島地域の概要

- ・ 長岡市西部に位置する三島地域は、平野部を黒川水系の河川が南北に流れ、西山丘陵沿いの脇野町、吉崎、上岩井地区などに市街地が形成されています。また、地域の東側や中山間地には、農村集落が点在しています。
- ・ この地域には、国道352号が東西に横断しているほか、南北には国道403号及び県道与板関原線が配置され、地域住民の日常生活や産業振興を支える重要な路線となっています。
- ・ 昭和60年以降、鳥越地区、上岩井地区などにおいて、土地区画整理事業による新たな市街地が形成され、定住人口の増加に寄与してきました。また、三島新保地区、鳥越地区の幹線道路沿いでは、農村工業導入地区の整備により、精密機器、食品加工、金属加工などの企業が立地しています。
- ・ 地域資源としては、酒や味噌、そうめんなどの特産品のほか、豊富な山林資源を背景に手引き鋸などの伝統産業が受け継がれています。また、「蓮花寺の大杉」などの自然資源、七日市地区における山形上山藩治政下の藩校「明新館支館跡」、神楽舞などの地域文化が残っています。

地域の概要を示す写真

○地域に関するデータ

- ・ 総面積 36.5 km² (4.3%)
- ・ 総人口 7,553 人 (2.7%)
- ・ 世帯数 2,005 世帯 (2.1%)
- ・ 年少人口比率 14.4%
- ・ 高齢人口比率 29.1%

(出典) 平成17年国勢調査
※カッコ内は市全体に占める割合

2 現状と課題

○安全・安心なまちづくり上の課題

- ・ 西山丘陵から流れる黒川流域の低地部では、近年、集中豪雨の際に、浸水被害が発生しており、黒川及び菖蒲川の抜本的な河川改修に向けた取り組みが必要です。
- ・ とりわけ、国道352号と県道与板関原線が交差する脇野町交差点周辺の市街地では、軟弱な堆積土による地盤沈下が進行しています。加えて、くぼ地となった箇所では、慢性的に雨水が湛水しやすい状況にあることから、対策に向けた取り組みが必要です。

○道路・交通ネットワーク上の課題

- ・ 三島地域と各地域の連携強化に向けて、国・県道などの幹線道路の整備・改善が必要です。
- ・ 国道 352 号、国道 403 号、県道与板関原線などの幹線道路や幅員の狭い生活道路では、歩行者の安全性を確保する歩道の整備や交通安全施設の設置が必要です。
- ・ バス交通は、三島地域における唯一の公共交通であり、住民の通勤・通学等を支える重要な交通手段です。このため、今後もバス交通を維持・充実していく必要があります。

○地域資源の保全・活用に向けた課題

- ・ 三島地域は、歴史的な文化財や史跡のほか、伝統産業、西山丘陵の緑豊かな自然など、多種多様な地域資源を有しています。今後も、これらの地域資源の維持・保全と、地域振興に向けた活用が必要です。

○地域産業の活性化と土地利用の課題

- ・ 三島地域は、精密機器や食品加工などの企業が集積し、産業が盛んな地域です。この強みを活かし、さらなる地域振興につなげていくため、都市整備の面からも産業の活性化を支援する必要があります。
- ・ 既存の農村工業導入地区では、工場の操業環境の確保に向けて、適切な開発誘導が必要です。
- ・ 「はなみずき団地」では、未分譲地が残っています。また、一方で、人口減少や転居に伴って、脇野町、吉崎、上岩井地区など、従来からの住宅集積地においても、空き家や空き地が発生しています。

○日常生活の利便性の確保に係る課題

- ・ 三島地域は、長岡地域との結びつきが強く、商業、医療・福祉などの都市機能については、基幹となる部分を長岡地域に依存してきました。一方では、高齢社会の進行を踏まえ、日常生活に必要な一定の機能を歩いて暮らせる範囲内に、確保する必要があります。

3 地域づくりの方針

<地域の将来像>

今後、地域委員会や策定委員会の議論を踏まえ、記述する予定

○安全・安心な都市基盤の整備

- ・ 黒川流域の低地部などにおける浸水被害を防ぐため、黒川水系の河川改修を促進するとと

もに、雨水管や道路側溝等の整備を推進します。

- ・ 脇野町交差点周辺の浸水対策については、ポンプ設備の更新などの対策について取組みます。

○幹線道路及び生活道路の整備

- ・ 三島地域と各地域の連携強化を図るため、国・県道などの幹線道路については、さらなる道路機能の強化に向けて、道路拡幅等を促進するとともに、危険箇所の改善に努めます。
- ・ 特に、長岡地域との連携強化に向けて、千秋が原・古正寺地区と脇野町・上岩井地区を結ぶ「長岡・三島ふれあい道路」の整備を推進します。
- ・ 身近な生活道路や通学路では、道路照明灯などの交通安全施設を設置するとともに、歩道の整備を推進します。

○公共交通ネットワークの維持・充実

- ・ 三島地域とJR長岡駅を結ぶバス路線は、その運行を維持するとともに、バス停の上屋整備など、バス交通の利用環境の向上を図ります。

○既存施設の集積を活かしたまちづくり

- ・ 支所周辺では、「はなみずき団地」が整備され、総合体育館、診療所や商業施設など多様な機能の集積が進んでいます。今後も、未分譲地の解消を積極的に進め、日常生活に必要な機能を、歩いて暮らせる範囲内に確保する地域づくりに努めます。

○地域産業の活性化と土地利用の誘導

- ・ 定住人口の確保と雇用の場を創出するため、必要に応じて適切な土地利用の誘導とともに、基盤整備を検討します。
- ・ 市街地における空き家や空き地の有効活用などの仕組みづくりを検討します。

○地域資源の活用に向けた基盤づくり

- ・ 新たなまちの魅力を創出し、さらなる地域振興につなげていくため、市民の創意工夫によるさまざまな地域資源を活かしたまちづくりを、都市整備の面からも積極的に支援します。

○自然環境の維持・保全

- ・ 平野部に広がる田園地帯や、西山丘陵における県内有数の三島林業地については、今後も適切に維持・保全します。

